

令和3年度 第6回文京区アカデミー推進協議会 会議録

日時	令和4年1月17日(月)午後6時30分～午後8時30分
会場	オンライン開催 (Zoom)
委員	山田徹雄委員◎、田中雅文委員○、青木和浩委員、増田純委員、三浦武裕委員、牧野恒良委員、小能大介委員、関誠委員、内藤雅義委員、佃吉一委員、増田みゆき委員、水木優香委員、富田直美委員、松井良泰委員、堀正孝委員、山内豊委員、高橋由貴子委員、小島えりか委員、今井瑛里子委員 (◎会長、○副会長)
欠席	井上充代委員、酒井宏委員、高澤芳郎委員、小西明子委員、杉田明治委員、清水恵一委員、彼島巽委員、田口稔己委員
幹事	高橋征博アカデミー推進部長、堀越厚志アカデミー推進部観光・都市交流担当課長、川崎慎一郎アカデミー推進部スポーツ振興課長、齊藤嘉之教育推進部真砂中央図書館長
資料	資料1 文京区アカデミー推進計画 (素案) パブリックコメントの実施結果について 資料1 別紙 文京区アカデミー推進計画 (素案) に対する意見と区の考え方 資料2 文京区アカデミー推進計画 (案) 資料3 文京区アカデミー推進計画 (案) の新旧対照表

1 開 会

山田会長	それでは時間となりましたので、令和3年度第6回文京区アカデミー推進協議会を始めさせていただきます。初めに委員の出欠状況、および配布資料等について事務局よりご説明をお願いいたします。
事務局	本日は、アカデミー推進課長細矢が不在のため、私、アカデミー推進部長高橋が、ご説明等させていただきます。どうぞよろしくをお願いいたします。それでは、委員の出欠状況をご報告させていただきます。欠席の連絡をいただいておりますのは、井上委員、高澤委員、清水委員、小西委員、彼島委員、田口委員、でございます。その他の方につきましては、後ほどログインしていただけたと思います。 ここで、12月16日付けで、指定管理者公益財団法人文京アカデミーの委員が、松井良泰委員に変更となりましたのでご紹介させていただきます。松井委員、一言お願いいたします。
松井委員	こんばんは。公益財団法人文京アカデミー事務局長の松井でございます。12月16日付けでの異動がございました。よろしくをお願いいたします。
事務局	続きまして、本日の資料についてご説明させていただきます。事前に資料

4点を郵送させていただいております。資料1、文京区アカデミー推進計画（素案）パブリックコメントの実施結果について。資料1別紙、推進計画（素案）に対する意見について。資料2、文京区アカデミー推進計画（案）。資料3、文京区アカデミー推進計画（案）の新旧対照表、以上4点でございます。また本日、資料1別紙につきましては、差し替えのデータを午前中にお送りさせていただいておりますので、印刷されている方はこちらについてもご確認をお願いいたします。こちらについては、説明時に画面共有もさせていただきます。

次に、Zoom 会議ご参加にあたっての注意事項をご説明させていただきます。画面共有を行います。1から8までの注意事項になります。

- 1 録音、録画、撮影等は禁止とさせていただきます。
- 2 発言者以外は、音声をオフ（ミュート）にしてください。
- 3 委員の方は、ビデオカメラをオンにしてください。
- 4 傍聴の方は、音声及びビデオカメラをオフにしてください。
- 5 発言の際は、実際に手を挙げる又は Zoom 機能の手を挙げるマークをお使いください。座長からの指名があつてからミュートを解除し、発言してください。
- 6 本会議中、チャットは使用いたしません。
- 7 資料の画面共有は、必要に応じ、事務局で判断いたします。
- 8 画面が固まったとき・調子が悪いときは、一度、会議を退出して、再度入りなおしてみてください。

なお、本日傍聴の方はいらっしゃいません。また、議事録作成のため事務局で録音をさせていただきます。何かご質問等、ございますでしょうか。よろしいでしょうか。説明は以上でございます。

山田会長

ありがとうございました。それでは、次第に沿って進めてまいります。議題（1）文京区アカデミー推進計画（素案）パブリックコメントの実施結果について、事務局よりお願いいたします。

2 議 題

（1）文京区アカデミー推進計画（素案）パブリックコメントの実施結果について【資料1】
事務局 はい。それでは資料1をご覧ください。1パブリックコメントの概要ですが、昨年12月6日に区報特集号で計画の概要をお伝えして、計画素案をホームページや地域活動センター、図書館等で閲覧して募集いたしました。特集号というのは、このようなものを配布いたしました。意見の募集期間は令和3年12月6日から令和4年1月5日までの1か月間で、意

見は 30 人の方から 32 件いただきました。意見に対する区の考え方を、別紙 1 にまとめております。別紙 1 は本日午前中にメールで送付したものでなります。直前の送付になってしまいまして、申し訳ございませんでした。それでは資料 1 別紙をご覧ください。

意見を章ごとに、第 2 章は 5 分野ごとに整理しております。32 の意見をいただき、計画に対する意見は 5 件でした。現在利用されている講座や、公共施設等に対する個別の要望が 27 件となっております。区ではアカデミー推進計画のような事業計画が多くあり、同様にパブリックコメント等を実施しておりますが、意見は少ないというのが現状です。具体的な要望が 27 件もあるということは、アカデミー推進計画により進められる 5 分野の区の事業に対して、区民の皆様の関心が強い、ということがうかがえます。それでは抽出していくつかご説明いたします。

まず、9 ページ 29 番です。こちらは文章に対する意見ですので、ご指摘を踏まえて、検討し、修正をいたしました。このたびのパブリックコメントでいただいたご意見で、計画に反映させたものはこの 1 件のみとなります。

1 ページの 2 番にお戻りください。こちらでは「いつでも、どこでも、だれも」、また 5 分野におけるテーマ、また「区内まるごとキャンパス」の考え方について評価をしていただき、「共に行動する」ことに繋げて欲しいという意見でした。これに対して「各分野の施策において、人材や指導者の育成を掲げており、「共に行動する」ことを推進する計画となっている」と回答しております。

個別の案件、要望についてもいくつか紹介いたします。3 ページ 6 番をご覧ください。こちらは学習活動の分野になります。「計画全体として素晴らしい取組みです」と評価をいただきました。そのうえで、学習については若い人、学生やビジネスマンを講師にするのが良いのでは、という意見をいただきました。区としては、「区民を講師とした講座等もさらに実施の検討を進めることとし、ご提案の内容等も参考にしながら取組を進めてまいります」と回答させていただきました。

その下の 7 番、こちらについては図書館に対する意見です。図書館の考え方を丁寧に回答しております。

4 ページ、9 番をご覧ください。「5 分野にわたる巾広い視点をもつ、とてもバランスのとれた推進計画と思います」と評価をいただきました。意見の方は、子どもの見守りに関する内容となっておりますが、担当課の方から丁寧に回答させていただいております。

その下の 10 番、こちらスポーツの分野になります。健康促進のために、卓球台を置いて欲しいという意見です。計画では「いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを親しむことができる環境づくり」を掲げているということから、ご意見については施設の担当課へお伝えするという風に回答しております。

7 ページ、18 番をご覧ください。こちらは文化芸術の分野です。大変有意義なイベントが計画され、当区の文化意識の先行が益々明るいと思えます、と評価をいただき、情操意識向上につながる、という意見です。若い世代の情操教育については、分科会においても議論をされました。「新たな計画に基づき、次世代を担う層が文化芸術への関心を持つきっかけとなる機会の充実を図ってまいります」と回答いたしました。

9 ページをご覧ください。国内・国際交流の分野になります。子ども、大人、高齢者向けの語学交流の提案がされています。「新たな計画に基づき、だれもが、いつでも、どこでもを視点に、外国人と日本人の交流の場を充実させ、国際理解促進に努めてまいります」と回答しております。

資料 1 別紙の説明は以上となります。

山田会長

ありがとうございました。それでは委員の皆様から、何かご質問やご意見ございますでしょうか。なお、ご発言なさる際はまず挙手していただき、こちらから指名したのち、ミュートを解除し、お名前を名乗ってからご発言をお願いいたします。それでは、何かご意見、ご質問等ございましたら、お願いいたします。

三浦委員

先程ご説明の、パブリックコメントに対する区の考え方のところですが、例えば 3 ページ目の 4 番のところは、「今後の参考にさせていただきたい」という文言になっていますが、5 番目の一番最後の行は、「文京アカデミーにご意見をお伝えし、検討してまいります」という風になっております。それぞれの答えの中で、大半は「参考にさせていただきます」という表現なんですけれども、一部このように「検討していく」という言葉が使われており、この言葉の意味を考えますと、「検討していく」ことの方が、より強く、前向きに受け取られるのではないかと思います。その色合いの違いが出て良いものかどうか、という意見です。基本的には「参考にさせていただきたい」ということで統一された方がよろしいのではないのでしょうか。

山田会長

三浦委員ありがとうございました。それでは事務局からお答えをお願いします。

事務局

ご指摘としては、三浦委員のおっしゃったように、「検討」というものに

関しては、既にその内容の一部をこちらの担当部署の方で、100%ではないんですが、今後対応しようか、既に検討しているものを「検討」というております。「参考」の方は、考え方としては良いのですが、それを具体化させるにはまだまだ色々検討しなければいけない段階のものや、特に行政としてやるのが難しいものについては「参考」と回答しており、一応そういう差をつけております。

三浦委員
山田会長
田中委員

分かりました。それで結構です。

他にご質問、ご意見はございますでしょうか。田中委員お願いいたします。

3つほどあります。1つ目は、1ページの2番で「共に行動する」ということに繋がっていけば、と書かれています。例えばなんですけど、計画案の5ページに「区内まるごとキャンパスに」という基本理念がありますけれども、これをよく見ると、最後の方に「いきいきと楽しく自分らしく学び、交流することのできるまちを創り上げます」と書かれています。もう少し区民が前向きに動くことをイメージするのであれば、今いただいたコメントから「自分らしく学び、共に行動し、交流することのできる」とすると、何かすごく前向きで、いきいきしたイメージが出ると思いました。

2つ目は2ページの3番で、協働という言葉が書かれているけれども、自治基本条例の趣旨を反映していない、というようなご意見だと思います。私も文京区の自治基本条例を拝見いたしましたが、ここに書いてある趣旨を、別に言葉だけで書いているのではなくて、ちゃんと自治基本条例にある考え方を体現できるような形で「協働」と書いていると、私は理解しています。例えば学習活動のところであれば、「区民の人材育成を行って協働で行っていきます」という風に書かれているのは、実際そういう区民の方々が区と連携しながら進めていると思うので、ちゃんと自治基本条例の趣旨を踏まえていると思うんですね。ですからその辺は、ただ「参考にする」だけではなくて、「自治基本条例の趣旨を反映できるように書いています」と。あんまり言い過ぎるとまた反発されるかも知れませんが、もう少し前向きに書いても良いのではないかと思います。今のままだと、かわしているだけに見えます。ちゃんと受け止めて、ある程度条例の趣旨を踏まえてやっています、というぐらいの、少し前向きな表現にしても良いと思いました。

3つ目は3ページの6番です。若い人に講師になっていただく、ということで、先程事務局からご説明もありましたけれども、これ具体的には計画書29ページのところが該当すると思います。ここの中ほどのウに「地域の文化や資源を活用した学習機会を提供するため、区内で活躍する人材

や大学などの教育機関といった多様な資源を活かした取組を推進します」と書かれているので、当然区内で活躍する人材の中には、色んな方がいらっしゃるのでは、若い人で相応しければ当然活用するし、大学との連携では、やはり今学生が地域で活動するのがすごく大事にされていますので、当然若い人との関係が出てくるんですよね。ですからこの辺り、答え方は今のままでいいとは思いますが、区内で活躍する人材や大学などとの連携の中で、必要に応じて若い人も活用していくことがあると考えます」などと、少し意見の趣旨を受け止めながら、もう少し具体的に書いてもいいと思いました。以上です。

山田会長 ありがとうございます。3点ほどご指摘がありました。いずれも、もっとポジティブな表現でも良いのではないかと、といったような趣旨ではないかと思いますが、それでは事務局からお答えをお願いいたします。

事務局 3点とも、事務局で検討したいと思います。1点目は既に具体例を先生の方から言っていただきましたので、6の基本理念、5ページの最後のところを「いきいきと楽しく自分らしく学び、共に行動し、交流することのできるまちを創り上げます」と、「共に行動し」を入れるということで、この場で皆さんにうなずいていただければ、修正にかけようと思います。本文の内容ですので、皆さんのご了承をいただきたいのですが。

山田会長 皆さんいかがでしょうか。よろしいでしょうか。ではお認めいただくということで、お願いいたします。

事務局 2点目につきましては、協働ということが本文の中にも書いてありますので、そこを抜粋しながら、しっかりと協働の視点を入れた計画になっているということで、区の考え方を変更させていただきます。3点目につきましても、先程の29ページのウに具体的に書いてありますので、ここでの人材育成は、大学等の活用も視野に入れていきます、ということでパブリックコメントの方は回答させていただきます。以上です。

山田会長 ありがとうございます。他にご意見、ご質問等ございますでしょうか。
今井委員 質問です。今回の意見を回答された方の属性をお伺いしたいのですが。男女の比率や年代などを知りたいです。

山田会長 回答者の属性についてですが、どのくらい差しさわりがあるのかという問題もあるかと思いますが、いかがでしょうか。

事務局 お調べして、後ほど答えさせていただきます。

山田会長 それでは他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは先に進めさせていただきます。議題2 文京区アカデミー推進計画(案)について、事務局より説明をお願いいたします。

(2) 文京区アカデミー推進計画(案)について【資料2】【資料3】

事務局

それではご説明いたします。昨年10月8日に開催した協議会でいただいたご意見や、庁内会議の意見を反映しながら、より正確に分かりやすい文章になるよう、修正をいたしました。修正箇所を資料3にまとめておりますので、ご覧ください。全部で78ヶ所修正をしております。表の方は、番号と修正箇所の計画案のページ、新旧文章、と整理をしております。

1番を見ていただきますと、ここでは「5つの分野」と「5分野」と複数の表現があるものを、「5分野」に統一する変更を示しております。

2番では、「アカデミー推進部が所管する新たな計画」を「アカデミー推進部の方向性を示す新たな計画」に変更することを示しております。このように、文章をより正確に、分かりやすく修正をしたものが、変更の大部分を占めております。私の方からは重要な変更箇所を抽出して、説明いたします。資料3と資料2計画案を一緒に見ながら、ご確認下さい。

まず資料3の5番、計画案の3ページになります。4の計画の期間です。こちら令和4年度から8年度までの5年間といたしました。この下に、資料3の旧に長い文章があるのですが、この文章が記載されておりました。内容は、新型コロナウイルスの状況の変化等の、社会情勢の変化に適応した取組を行っていく、ということが記載されておりました。これを、計画案の16ページ、具体的な取組を示す第2章、5分野の施策の扉があります。こちらの下に、先程の文章を移動いたしました。

続きまして資料3の2ページ、10番になります。計画案は5ページの6.基本理念になります。こちらの基本理念につきましては、前回の協議会で議論をいただきました。その意見を反映させて、変更しております。計画案の4段落目、「このような状況の中で」以下を変更しております。変更内容については資料3をご覧ください。10番の下線が引いてあるところが変更してあります。その中に「著しく変化する社会情勢に柔軟に適応しながら」を追加しておりますが、これは前回の議論の中で、「多様性を活かし」と書いてあるので、多様性を活かすことを促すような言葉が前に欲しい、ということがありましたので、この「著しく変化する社会情勢に柔軟に適応しながら」一人ひとりの多様性を活かし、という風に変更いたしました。また、その下の「これまでの価値の継承と」を追加いたしました。これは、新たな価値の創造も大切だが、今の文京区の良さがあるが、それが伝わらない、という意見がありましたので、「これまでの価値の継承と」

新たな価値の創造を目指す必要があります、という風に変更させていただきました。

11 番は本文で行くと 5 段落目になります。こちらは東京 2020 大会の効果を追加しております。5 分野の取組について、東京 2020 大会を契機に推進された分野間の連携も重視しながら、大会の様々なレガシーを活かし、多様な地域課題に対応するとともに、と変更させていただきました。

続きまして資料 3 の 3 ページ 18 番、計画案は 12～13 ページになります。こちらは計画の体系図になります。本文を修正しておりますので、その変更と合わせて整合性を取っております。基本理念である「区内まるごとキャンパスに」を実現するために、5 分野において基本方針ごとに事業を検討してまいります。その際には、人、環境づくり、資源活用の 3 つの視点を重視しながら進めていくということをいっております。

資料 3 の 4 ページ、27 番をご覧ください。計画案の 26 ページになります。指標の「社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数」の現状値を 161,731 人に変更いたしました。これは、古い現状値では令和 2 年のコロナ禍の影響が大きい時の数字でしたので、令和元年の数字に変更いたしました。その下の主な取組の中に、点線で囲っている部分があり、分野間連携と書いてあります。これは、分野間連携による事業を示しております。その下にスポーツの「ス」、文化芸術の「文」ということで、どこの分野と連携した事業なのかということを書いております。これは、各分野の主な取組の中に、全部で 26 個ピックアップしております。

資料 3 の 6 ページ、35 番をご覧ください。計画案の 42 ページになります。指標のスポーツ団体等との連携事業数の目標値を、20 から 23 に変更しました。2 つ下の指標の事業参加者の満足度、目標値 80%、こちらは新たに追加をいたしました。

資料 3 の 9 ページ、50 番をご覧ください。計画案の 54 ページになります。指標の、区文化芸術事業への未成年の参加者数の目標値を、1,000 から 1,500 に変更しました。これは集計する際に、新規の事業も対象にするということで、目標値の方も上げました。

資料 3 の 52 番をご覧ください。計画案は 56 ページになります。指標の、文京ふるさと歴史館と森鷗外記念館の区民認知度、こちらの名称を変えております。そのページの 1 番下の「資料の保管に関する検討」、こちらは、ふるさと歴史館で保管している資料の今後の取扱を検討するということで、地域に追加させていただきました。

57 ページの 1 番下をご覧ください。こちらの「区内の文化財、文化遺産

等の保護・活用」には、文化財、文化遺産等を観光事業等で活用する取組も検討していく、ということ新たに追加いたしました。

資料3の14ページ、72番をご覧ください。計画案は85ページになります。評価の考え方とPDCAサイクルの説明になります。今までの、現計画における評価方法では、事業によって区民にもたらされる成果が分かりにくかったこと、そこで本計画では、指標と目標を設定したこと、事業の実施状況や指標の達成状況を踏まえて、点検、評価を行うことで、毎年度改善、見直しを行うことを、伝える文章に変更しております。

資料3の15ページ、73番をご覧ください。計画全体の文字をユニバーサルデザインフォントに修正しております。計画案の説明は以上となります。

山田会長 ありがとうございます。ただいまの計画案についてのご質問、ご意見を伺う前に、先程の今井委員のご質問への回答のご準備が出来ていれば、先にお願ひしたいのですが。

事務局 はい。まず性別ですが、男性が13人、女性が14人でほぼ同じで、不明が3人です。提出方法は、はがきが26、メールが3、持参が1で30となっております。はがきは、区報特集号についておりましたので、そちらで回答をいただいたものと思われまふ。年代につきましては、質問項目がなかったため、不明です。以上です。

田中委員 すみません、パブリックコメントを行う時に、意見を提出する方の性別も聞いているんですか。

事務局 最近はそういった個人情報については収集しないというのがありますので、実は聞いておりません。名前で判断させていただきました。

田中委員 なるほど。では若干の誤差はあるということですね。分かりました。

山田会長 事務局のお答えの中にも不明の方がいらっしやいましたので、その辺のことだろうと思ひます。では戻りまして、議題2についてご意見、ご質問ございましたら、お願ひいたします。

田中委員 5つほどあります。まず計画案28ページの最後の項目です。現状では、「高齢者、障害者、子育てや環境活動など地域の様々な支援を行う担い手」と書いてありますが、ちょっと繋がらないので、例えばですが「高齢者・障害者や、子育てに対する支援、環境活動など地域の様々な活動を行う担い手」という風に、「支援」を「活動」に変えてはいかがでしょうか。ご検討ください。

2点目は、資料3の2ページ、12番です。基本理念のところなんですが、一人ひとりの多様性というとき、趣旨としてはそれぞれの人、多様な色

んなものを持っているんじゃないかと、人それぞれ個性があるので、全体を合わせれば多様なんだ、という意味ですよね。一人ひとりが、皆、多様なものを持っているわけではないと思ったんですが。そうだとしたら、一人ひとりの多様性だと、それぞれの人が多様なものを持っていることになってしまうと思うんですが。これで通るなら良いのですが、別の表現としては、例えば「区民の多様性」にすれば、問題はないんですけど、ただ対象となるのが区民以外も含む、ということであれば、「人々」にするか。いずれにしてもこの表現のままだと、一人の人が多様なものを持っている、という風にとられないと思いました。

3点目は資料3の8ページ、49番です。「次世代を担う人材」とありますが、「世代」というのは通常「人」を差している言葉なので、その「世代」を担う、という言い方はおかしいと思います。変えるとしたら、「次世代を担う」、これだったら次の時代を担うことになりすし、あるいは「次世代の人材」にするかの、どちらかかと思いました。

4点目は、11ページの57番です。参加という言葉は、必ずしも対面の参加じゃなくて、オンラインの場合も通じると思うので、通常のイベントなんかだったらここは「参加型」ではなく、「対面型」にするんじゃないかと思います。

5点目は15ページ、73番です。ユニバーサルデザインフォントに修正、これはとても重要なことなので、是非お願いしたいと思うんですけども、色のことについて、最近はきれいな色のパンフレットとか報告書があって、強度の色弱の方などが、色の見分けがつきにくい場合があるので、このユニバーサルデザインの中に色も入っているならいいんですけども、そうじゃなければ念のため、その道の専門家にアドバイスをいただいて、中間色などで区別がつきにくそうな色があるなら、それを比較的区別のつきやすい色にしてもらうと良いと思いました。可能な範囲で良いとは思いますが。以上です。

山田会長

田中先生から5点ありましたけれども、2点目の「一人ひとりの多様性」という言葉は、確か先生からご指摘いただいて対応した箇所かと思いません。そんなことも踏まえながら、事務局からお答えをお願いいたします。

事務局

1つ目の文章につきましては、そのように直したいと思います。

「高齢者・障害者や、子育てに対する支援、環境活動など地域の様々な活動を行う担い手」として、ということに変更させていただきます。

2つ目の「一人ひとりの多様性」については、一人が持つ多様性ではなく、多くが集まった、という意味での多様性ですので、そこら辺が明確になる

ような形で修正をして、会長と田中先生と青木先生にもご確認をいただきたいと思います。

3つ目の「次世代を担う」、こちらについては、「次世代の人材」か「次代を担う」を、事務局で検討してどちらかに変更したいと思います。

4つ目の57につきましては、元々ハイブリッドという言葉を使い換えたのですが、そもそも「対面」という言葉で他の計画やパブリックコメントでも記載しておりますので、「対面」に変更させていただきます。

5つ目の73につきましては、文字だけでなく、今、色のバリアフリーなども言われていますので、専門の方に相談しながら、色についても配慮して行きたいと思います。

山田会長 ありがとうございます。それでは他の方のご意見を伺えればと思いますが、いかがでしょうか。

小島委員 1つ質問があるのですが、推進計画の18ページをはじめとして、障害者や障害、という表現について、「害」の字が使われています。この点に関しては、かなり昔から議論が行われておりまして、一部の自治体では障害の「害」を、ひらがなに変えたり、「碍」の字を使うという対応をされています。区民誰もが参加できるということをうたっている計画の中で、以前と変わらずこの漢字が使われているのは、少し違和感を覚えました。文京区ではまだ議論されていないようですし、東京都でもこの点に関しては保留となっているようですので、今回の推進計画にこの観点を盛り込むのは少し難しいかも知れないのですが、今後区内で検討していただくとありがたいです。

山田会長 ありがとうございます。事務局からお答えください。

事務局 現時点ではまだ結論が出ていないということで、この漢字を使わせていただいております。今後動きがあれば、我々が作成する書類については、そちらの考えを反映させていきたいと思いますが、今回に関してはこの漢字を使わせていただきたいと思います。

山田会長 他にございますでしょうか。

高橋委員 今小島委員のおっしゃった障害の「害」の字は、言われてみればかなり強く響いてまいりました。東京都がまだ何も発していないから、ということではなくて、下から上に発して行ってもいいので、もし文京区でそういった皆様のお気持ちがあるなら、文京区としてその字を変えるということは、難しいのでしょうか。

山田会長 今回の計画書レベルではなく、区としてご検討を、ということですね。いかがでしょうか。

- 事務局 現時点で結論が出ていないということは、社会全体で一体どれが一番正しいのかが、なかなか回答が見つからない、難しい内容だということです。現時点では今の漢字を使っているのですが、今後大きな方向性で、これが良いのではないかと、というのがある程度見えてきた時点では、文京区として率先して社会に伝えて行くということは出来ると思います。現時点ではまだ、どれが正解なのか分かりませんので、現状の字を使わせていただきたいと思います。
- 高橋委員 社会の中で、障害を持っている方が非常に多くなってきていますので、小島委員のご意見は考える機会を与えて下さったので、嬉しく思います。ありがとうございます。
- 事務局 今回東京 2020 大会でパラリンピックを見たり、最近ではコマーシャルや色んな番組でも障害者と一般の方が垣根無しで出られたりしていますので、そういったところでも、今後そういう漢字の議論はされていくと思いますので、しっかり対応していきたいと思います。
- 会長 他によろしいでしょうか。それでは今回は最後の協議会となりますので、全体を通してのご意見、ご質問、あるいは感想でも結構ですので、何かございますでしょうか。
- 今井委員 計画について 1 点だけ。例えば計画の 23 ページの下の方、様々な分野の講座・講演会等の実施の中に、点線で囲まれた分野間連携という記載があります。これ他の部分でも分野間連携の時にこのように囲んでいただいていると思うんですけども、右側に「ス」「文」「観」「国」とありますが、この冊子の中に凡例がなかったため、何を意味するか疑問を持つ方もいらっしゃると思うので、必要に応じて凡例の記述をした方が良いと思いました。
- 山田会長 事務局から何かございますか。
- 事務局 計画案の 12 ページの体系図のところ、5 分野の頭文字を大きくして、分かるようにしたつもりでしたが、ここを見ずに本文をいきなり見ると分からない可能性がありますので、取組の分野間連携の始まる辺りのところで、簡単に凡例を入れたいと思います。
- 今井委員 今モノクロ印刷なので分かりづらいと思いましたが、12 ページできちんと色分けをされているなら、カラー版だと分かるのかも知れません。ありがとうございます。
- 山田会長 他にごございますでしょうか。特にないようでしたら、本日の議題は以上でございます。最後に本日がアカデミー推進協議会の最終回となりますので、先生方から一言ずつ頂戴できればと思います。

- 事務局 会長、すみません。お時間まだありますので、その前に委員の皆様から、一言ずついただければと思いますが。
- 山田会長 事務局からご指名させていただきますので、マイクのみュートを切って、一言よろしくお願いいたします。名簿順で、増田委員お願いいたします。
- 事務局 事務局からご指名させていただきますので、マイクのみュートを切って、一言よろしくお願いいたします。名簿順で、増田委員お願いいたします。
- 増田委員 長い間どうもありがとうございました。文京区生まれの文京区育ちですので、こうして区民と行政と学識経験者の皆様で、1つのことをやるというのは、ごく当たり前に感じて今まで育ってきたのですが、この1年間、他の区を拝見する機会がありまして、これはすごく恵まれていて、幸せで充実していることなんだ、ということがよく分かりました。本当にありがとうございました。
- 三浦委員 1年間色々と重ねながらやってまいりまして、大変参考になりました。特に回を追うごとに、皆様方の意見と事務局の方とのやり取りの中で、色々改善を重ねてここまで来たということは、非常に素晴らしいことだと感じております。途中でコロナ等の影響で、開催方法が色々変わりがちで、難儀なところもありましたが、何とかここまで来てよかったと感じております。本当にありがとうございました。
- 牧野委員 1年間長くかかりましたが、このような計画が出来上がり、本当に良かったと思っております。年末年始からまたコロナの感染が非常に多く、私も能楽堂の方も色々講演が中止になったり、なかなか大変な時期ではありますが、皆さんも感染しないように、無事お過ごしいただければと思います。ありがとうございました。
- 小能委員 皆さん1年間お疲れ様でございました。観光の代表で出させていただいておりましたが、色々なイベントの中で、どうしても1つのことに集中してそれに特化するために、埋没してしまうことがたくさんあったんだな、ということが、この計画を見て非常によく分かりました。広い視野で文京区の観光について再度勉強しながら、この推進計画に沿って、より良い文京区の観光を進めていきたいと考えております。色々ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。
- 関委員 東京商工会議所の代表として参加させていただいております。個人的な反省点として、区民の方からのパブリックコメントの中に観光が1つ、国際交流が3つしかなく、学習活動・スポーツ・文化芸術の方はたくさんあったところで、もう少し分かりやすく表現できた部分があったとか、逆にパブリックコメントがないくらい素晴らしい計画が作れたとか、出来上がった計画書を改めてじっくり読ませていただいて、個人的に次に備え

て、色々勉強を重ねて行きたいと思っております。1年間お疲れ様でした。ありがとうございました。

内藤委員 前任から引き継いで去年の4月からこの委員を受けさせていただきました。主には国内交流のあり方等について、ご意見させていただきました。これからやはり文京区中心に、国内交流団体13団体ありますが、一緒になって盛り上げて行きたいと思っております。色々ありがとうございました。

佃委員 この1年間、コロナの影響で学生がほとんどいなくなって、半分以下になりました。なかなか国際貢献といっても出来なかったのが、残念です。ただ今後、東京都も国際都市といって、金融、経済、国際人材を育成するという点で、文京区さんも含めて何か大きな方針、つまりオリンピックは国際のシンボルだったんですが、コロナもあり、100%発揮できなかった。でも国際都市東京というのは、まだ旗を降ろしていないんじゃないかと思っておりますので、コロナ明けでやっていただけると、ありがたいと思っております。特に日本の場合、鎖国的思想が強くて、外国の留学生を受け入れるとか、G7でやっていないのは日本だけです。これは日本の鎖国的風土もあるので、何とも言い難いところですが、コロナが終わったらその分、挽回していただけたらいいなと思っております。アカデミーさんのこの計画に沿って、何か実行できると良いと思っております。よろしく願います。

増田委員 4月にこの委員に就任しましてから、大変勉強になりました。コロナの影響で対面型になったり、Zoomになったりしまして、色々勉強になりました。実態調査についてですが、今は昔とちがって男女は書かないですね。それでもやはり意見の違いは男女差であると思うので、本当は男女が分かった方が良く思います。先程事務局の方がお名前でご判断されたというのは、素晴らしいと思えました。ありがとうございました。

水木委員 会議に出席するたびに新しい知識が身に付き、とても勉強になる会議でした。私は小学校で活動していることが多いので、このアカデミー推進計画に、子どもたちや子育て世帯の視点が活かされた内容になっていることを、とても嬉しく感じております。1年間どうもありがとうございました。

富田委員 1年間お世話になりました。仕事でなかなか参加できなかった部分もあるんですが、本当に勉強になりました。当たり前のことですが、皆さんがこうして話し合っていて、やってくさっているというのがとてもよく分かりましたので、こういったことも皆さんよく知っていただけたらいいなと思えました。ありがとうございました。

- 堀委員 1年間お世話になりました。事務局の皆さんは、こういう Zoom など会のスムーズな運営をありがとうございました。今日この推進計画の案を見させていただいて、皆さんから色々な意見が出たのを思い返して、大変良いものに出来上がったな、と先程から感心しておりました。この委員会に参加して、多くの方のご意見をお聞きすることが出来て、大変勉強になったことと、その間にコロナという最悪なこともありました。オリンピックというイベントもありまして、大変バラエティーに富んだ委員会であったように思っております。本当に皆さんお世話になりました。ありがとうございました。
- 山内委員 こうした計画策定に一部でも参加させていただいて、大変光栄に思います。ありがとうございました。こうした立派な計画が出来上がったわけですが、これをより実効あるものにするためには、これから5年間、区と区民の皆さん、特にこの計画に際してはボランティアの組織やボランティアの方々の協働が不可欠だという形になっていると思うので、そうした方々が活動しやすいような工夫を、是非区の方でも具体的に進めていただければな、と思っております。本当にありがとうございました。
- 高橋委員 私の1年の動きを参考までにお話したいと思えます。通常ですと年に2つから3つの外国に、外務省の要請を受けて、参りまして、自分の仕事の実践や講演をしまわりますが、この2年は全くそれが出来ずにおりました。ところが外務省さんがオンラインで、ライブで向こうの大使館さんをつないで、美大生たちと今私が話している工房で、大きな機材を入れながら、バルト三国を今年度、3月までにカナダやミャンマーなど8つの国を終えなければならない、ですから通常の年よりも3倍の国との交流が出来たのが今年度なんです。十分100%お伝えすることは出来ないにしても、こういうやり方で世界は広がっていくんだな、というのを実感して、こここのところ忙しく過ごしております。私事ですが、こんな世界になってきたということをお伝えしたくてお話させていただきました。1年間ありがとうございました。
- 小島委員 今回最年少の委員として、未熟ながら委員会に参加させていただき、委員の皆様方から多くのことを学ばせていただきました。大学院修士課程で政治学を研究する者の一人として、一番身近な政治の形の1つであり、私自身が生まれてから23年間暮らしてきた文京区の政策決定に、微力ながら関わる機会をいただけたこと、感謝いたします。ありがとうございました。
- 今井委員 まず事務局の皆様、このコロナ禍で運営の仕方や、計画を立てる期間が変

更になったり、色々ご苦勞があったと思いますが、本当にありがとうございました。この協議会に参加することで、ますます文京区のことを分かり、好きになることが出来ました。引き続き、区民として色々貢献できればと考えております。今回コロナがきっかけで、このようにオンライン開催という新たな手法を取り入れていただいたことで、私は今2歳の子どもがいて、なかなか家を離れることが難しいんですが、そういう人でも委員を務めることが出来るんだな、という良い機会になりましたので、このようなオンライン開催や、ハイブリッド開催も今後継続いただければと思います。皆様ありがとうございました。

事務局

委員の皆様、ありがとうございました。

山田会長

それでは先生方から一言ずつ頂戴できればと思います。田中先生、よろしくお願いたします。

田中委員

皆さんありがとうございました。私は日本女子大学に所属しております、本部は文京区目白にありますが、私の学部は川崎市にあったんです。それが今年度の4月から統合移転ということで、文京区に移りました。ようやく私も文京区民になった気分です、この1年間委員会に参加させていただきまして、本当にありがたかったです。この委員会はほとんど全てが区民の方で構成されていて、今日は最終回なので比較のご発言は少なかったと思うんですけど、分科会では随分活発にご意見が出て、それこそ多様な区民の皆様とコミュニケーションが出来て、嬉しく思いました。大学で仕事をしていると、なかなか文京区で仕事をしていながらも、文京区民の方と話す機会はあんまりないです。ですからこういう委員会で色々コミュニケーション出来たことは、私にとってもありがたいことでした。こうして資料を拝見すると、パブリックコメントで意見を出した方が30名もいるというのは、素晴らしいことだと思うんです。分野によっては、例えば福祉やまちづくりでは比較的意见が多いのですが、このアカデミー関係というのは、相対的にはそんなにない分野だと思うんですが、そういう中でこれだけの方が意見を出されたというのは、やはり文京区民の方々は非常に問題意識が高く、積極的にこの自治基本条例にもある、参画とか参加をしていこう、という意識が強いと思って、改めて学ばせていただきました。先程山内委員からもありましたが、こうやって素晴らしい計画を作ると、もうこれで「やった」という気になるんですが、本当はこれからが本番で、これをどうやって現実のものにしていくか、ということが大事だと思いますので、我々委員一人一人、この計画がどういう形で実っていくのかということを見て見守りながら、いい形に進んでいくこと

青木委員

を促していければと思います。事務局の皆さん、このコロナの中で色々ご苦勞が多かったと思います。本当にお疲れ様でした。委員の皆様には、本当にたくさん学ばせていただきました。どうもありがとうございました。スポーツを担当いたしました青木です。まずは分科会に参加いただきました委員の皆様、事務局の皆様、本当にありがとうございました。先程田中先生もおっしゃっていたんですが、区民の方から色んな意見をいただき、色んな話を聞きながら、こういう方向にしようという風にさせていただいたと記憶しております。私も色んな行政に携わっておりますが、アカデミー推進という概念は非常に珍しいもので、色んな分野が、横断的に1つの塊になっているというのが、正に文京区の特徴かと思っております。そういったところからしますと、委員の皆様からもコメントがありましたように、やはり文京区というのは、地域で人を育てる環境が整っているのではないかと、とても感じています。もしかしたら学校開放などと色んな部分で連携が取れる、スポーツと観光で連携が取れるという風に、色んな形の可能性を秘めているのを感じております。今回オリンピック・パラリンピックがございましたが、その中で特にパラリンピックというものが特徴的になってきました。こういったものをレガシーとして残すという意味では、スポーツの中ではユニバーサルスポーツというような表現をさせていただきましたが、正にパラリンピックを象徴するような形で、いわゆる共生社会に向けた実現に大きな一歩を示している、と感じております。そして今日いただいたパブリックコメントを拝見しますと、やはり文京区の方々は、非常に施設に対して強い要望、実施したいという気持ちがあると思います。この実施計画が区民の要望に合致して、いかに実践していくかといったところが、これから私たちがこの基本計画の中で期待すべきものなのかと思っております。また、私たちはこれを作った責任者、立場の人として、これから文京区がどういう風に歩いていくかというのを見ていくということも、我々の大きな課題であると思います。そういった意味では、今後も文京区のところを見ていただきまして、色んな形でご意見をいただいたり、また皆様方とこういった機会をもって、ご相談させていただいたり、議論させていただく場があると光栄かと思っております。1年間というか、コロナですずっと昔からやっていた雰囲気もあるんですけども、長い間どうもありがとうございました。また、座長の山田会長ありがとうございました。

山田会長

では最後に私からご挨拶申し上げます。と申しましても今日が最後ですので、あまり固いご挨拶は抜きにさせていただきます。先程高橋委員から、

年2回外国を訪問していたのが、出来なくなったということでしたが、全く私も同じでして、私も年2回、主にドイツ語圏に行っておりましたが、この2年間行くことが出来ません。私は1975年から77年までドイツに留学しておりまして、それ以降帰国した後も、毎年ドイツを訪問しておりました。そういった意味で、国際的な結びつきが絶たれるというのは大変寂しい思いをしております。また、オンラインでコンタクトを取ることは出来るんですが、コンタクトを取る相手も私と同年代の人がどんどんいなくなって行って、そういった意味で大変寂しい思いをしております。私は住んでいるところは神奈川県の逗子です。文京区との繋がりで言いますと、母が文京区の生まれで、文京区で育っております。母が亡くなった後、戸籍を取りに行ったら、戦争中の空襲で失われている、という書類を頂戴したことを覚えております。しかし、文京区で仕事をしておりますので、なんともいえない愛着といたしますか、そういったものを持っております。今回様々なご意見を拝聴いたしまして、大変勉強になりました。委員の皆様、事務局の皆様には、改めて御礼を申し上げたいと思います。この文京区それ自体、この会議体、またここにご参加下さった皆様の益々のご発展を心から祈念しております。どうもありがとうございました。それでは最後に、事務局から事務連絡をお願いいたします。

事務局

本日はご議論ありがとうございました。2点ほど事務連絡をさせていただきます。

1点目は今後のスケジュールについてですが、今回ご議論いただいた点を踏まえて、事務局で修正をさせていただきます。修正内容については会長に一任させていただければと思いますが、皆さんよろしいでしょうか。ありがとうございます。1月28日に庁内組織である推進本部で検討し、計画案として3月の議会に報告いたします。議会報告した内容で計画改定を行います。完成した計画冊子につきましては、4月以降皆様にご送付させていただきます。

2点目、本日の議事録につきましては、後日メールまたは郵送にてお送りしますので、ご確認をお願いいたします。修正点等ございましたら、事務局までご連絡ください。事務連絡は以上です。

最後に会長、アカデミー推進部長として一言皆様にお礼を申し上げたいと思います。よろしく申し上げます。

令和元年6月の協議会から始まり、3年をかけて計画を改定することが出来ました。今年度についてはコロナの状況下の中、書面開催やリモート開催など、様々な開催で皆様にご負担をおかけしました。でも、開催の形

態は違うんですが、その都度活発なご議論をいただき、貴重なご意見をいただいで、魅力的な計画を作ることが出来ました。これからの5年間はこの計画に沿って基本理念である「区内まるごとキャンパスに」を目指して、計画の目的である、区民の皆様が、うるおいのある暮らしを送ることが出来るように、それぞれの分野で事業を推進してまいります。皆様に計画の実現に向けてしっかり取り組んでいるな、と評価していただけるように、頑張ってまいります。皆様本当に長い間、ありがとうございました。

山田会長

ありがとうございました。では、本日の会議を終了いたします。この協議会には長い方で、約3年間ご参加いただきました。お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。お疲れ様でした。

以上